

Q 奈良県の生駒市と長崎県の対馬市、離れている2つの市が、
 いっしょに環境教育のプログラムをつくったのはどうして?

A 子どもたちに、海洋ごみ問題の関心とふるさとを
 愛する気持ちを高めてほしいからです!



奈良県生駒市には、長崎県対馬市に漂着したプラスチックを使って、製品をつくり、販売している企業があります。そのことがきっかけになって、2つの市の交流がはじまり、対馬市で回収された海岸の漂着物を再利用した製品を活用した環境プログラムと授業パッケージを開発することになりました。遠く離れた場所で、児童・生徒が同じ授業パッケージを使うことでつながりが生まれ、海洋ごみ問題に対する関心とふるさとへの愛着を高めていきます。

授業パッケージは、両市の小・中学校だけでなく、他のまちでもぜひ使ってほしい!

活動を
 ▶ひろめて
 いかそう



Q どうしてペットボトルで「西陣織」を編んだの?

A 伝統を未来に残すため、
 ペットボトルを再利用した織物に注目しました。



京都の伝統工芸である西陣織の技術と文化を、未来へ残していくために、廃棄されたペットボトルを再利用した「再生繊維」という素材に注目しました。西陣織の素材として、リサイクル素材を使うことで、SDGs12「つくる責任つかう責任」に貢献しながら、伝統工芸に新しい風を吹きこむことができました。

この取り組みを発信することで、多くの人の意識や行動を変えていきたい!

